

具体例と結論を読み取ろう

名前 _____

A 具体例を見つける

- 問1

具体例に当たる一文を抜き出さない。

『同じ時間勉強しても、途中で短く休むと集中を戻しやすいことがある。例えば私は、三十分勉強したあとに五分だけ席を立つと、その後の問題にも取り組みやすくなる。休み方を工夫することも学習を続ける助けになる。』

答え 例えば私は、三十分勉強したあとに五分だけ席を立つと、その後の問題にも取り組みやすくなる。

補足：『例えば』から始まる具体的な経験を一文で抜き出す。
- 問2

具体例の一つ選びなさい。

『身近な道具でも、使い方を少し変えると便利になることがある。私は教科書を開いたままにしたいとき、大きめのクリップで端を留めている。小さな工夫を試すことは、日々の不便を減らすことにつながる。』

ア 身近な道具は便利である

イ 大きめのクリップで教科書の端を留めている

ウ 小さな工夫は不便を減らす

答え イ

補足：具体的な行動や事例を選ぶ。

B 具体例の役割を考える

- 問3

具体例が何を説明しているか選びなさい。

『失敗した方法にも意味がある。例えば紙飛行機を遠くへ飛ばそうとして何度も折り方を変えると、うまく飛ばなかった折り方からも翼の形と飛び方の関係を考えられる。だから、うまくいかなかった結果も次の工夫に生かせる。』

ア 紙飛行機の折り方一つしかないこと

イ 失敗した結果も次の工夫に役立つこと

ウ 紙飛行機は遠くへ飛ばすべきであること

答え イ

補足：具体例の内容ではなく、その例によって示される筆者の考えを答える。
- 問4

筆者が時計の例を挙げたのは何を分かりやすくするためですか。

『便利な道具でも、使う目的を考えることが大切だ。例えば時計を何度も確認しすぎると、残り時間ばかり気になって作業に集中できないことがある。道具は持っているだけでなく、目的に合った使い方を考える必要がある。』

答え 便利な道具も目的に合った使い方を考える必要があること。

補足：『道具は使い方が大切だということ』など同じ内容なら可。
- 問5

具体例を挙げた目的として最も適切なものを選びなさい。

『人に説明すると、自分が理解できていない部分に気づくことがある。例えば数学の解き方を友達に説明しようとして、途中の理由をうまく言えなければ、そこが自分の理解の弱いところだと分かる。説明することは、自分の理解を確かめる方法にもなる。』

ア 友達に数学を教えるよう勧めるため

イ 説明することで自分の理解の不足に気づけることを示すため

ウ 数学は理由まで覚える必要がないと示すため

答え イ

補足：具体例と前後の主張を結び付けて判断する。

C 結論を読み取る

- 問6

結論に当たる一文を抜き出さない。

『新しいことを始めると、最初はうまくできないことが多い。そこで一度に完璧を目指す、続けるのが苦しくなる。小さな目標なら達成したことを実感しやすい。だから新しい習慣は、小さく始めて少しずつ続けることが大切だ。』

答え だから新しい習慣は、小さく始めて少しずつ続けることが大切だ。

補足：最終段落で筆者の考えをまとめる一文を抜き出す。
- 問7

筆者が最も伝えたいことを選びなさい。

『意見が違う相手と話すとき、すぐに自分の考えを言い返したくることがある。しかし、まず相手がなぜそう考えたのかを聞けば、自分にはなかった見方に気づくことがある。意見の違いを理解するには、結論だけでなく理由にも耳を向けることが大切だ。』

ア 意見が違う人とは話さない方がよい

イ 自分の考えはすぐに言うべきだ

ウ 意見の違いを理解するには相手の理由にも耳を向けることが大切だ

答え ウ

補足：最後の文だけでなく本文全体と一致する内容を選ぶ。
- 問8

この文章の結論を簡潔に答えなさい。

『情報を集めるとき、数が多ければよいとは限らない。似た内容ばかり集めても、新しい見方は増えないからだ。異なる立場の資料も確かめることで、一つの問題をいくつもの方向から考えられる。情報は量だけでなく、どのような見方を含んでいるかも大切である。』

答え 情報は量だけでなく、どのような見方を含んでいるかも大切である。

補足：本文最後の一文と同内容なら可。